

# 平成 29 年度シラバス (家庭総合)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科 (科目)	家庭総合	単位数	2 単位	学年 (コース)	3 学年
使用教科書	教育図書「家庭総合 出会う・かかわる・行動する」				
副教材等	なし				

## 1. 学習目標

子供の発達と保育・福祉、住生活の科学と文化、消費生活と資源・環境、人の一生と家族・家庭に関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 2. 指導の重点

- ①子どもの発達と保育・子どもの福祉について理解することを目指します。
- ②心豊かで充実した住生活を営むことができることを目指します。
- ③消費者として責任をもった行動ができることを目指します。
- ④家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉について理解することを目指します。

## 3. 学習計画

月	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	第1章人の一生と家族	③家族って何だろう	・青年期の自立について考え、男女の社会的役割について理解する。また、自分の問題として意識する。 ・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよりよい環境について考え、自分なりの意見を持つ	5	定期考査 授業の取組 実習の取組
5	2. 育つ・育てる 第2章保育 ☆1学期中間考査	④家族と社会の関わりは? ①赤ちゃんはなぜかわい ②子どもはどう育つのだろう		5	
6	☆1学期期末考査	②子どもはどう育つのだろう	・子どもの発達について理解する。 ・子どもの遊びについて理解する。 ・子どもの生活について理解する。 ・親の役割の重要性を理解する。 ・児童福祉の基本的な理念を理解する。	3	
7		③親となるとはどういうことか		5	
7		④子育てを支える社会の仕組み		3	
8	人と出会う、かかわる	①社会はどう高齢化するのか	・高齢者の心身の変化と特徴、生活、福祉を理解する。 ・高齢者の自立生活を支えるために家族や地域、社会の果たす役割を理解する。 ・地域福祉システムの基本的な理念を理解する。	8	定期考査 授業の取組 実習の取組
9	3. 高齢者	②高齢期はどういう時期か		5	
10	☆2学期中間考査	③高齢期の生活を支えるしくみ ④高齢者介護を学ぶ		4	
11	生活を見つめ直す 1. 住まう ☆2学期期末考査	・どんな住まいで生活をしている? ・安全で快適な住生活をつくる ・家族が集まる空間とは? ・住まいのデザインをする ・これからの住生活と環境	・住居の機能、住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解する。 ・管理・整備に必要な技術を取得する。	8	定期考査 授業の取組 実習の取組
12				5	
1	買う、生かす、捨てる 1. 消費生活と資源・環境	・消費行動と意志決定 ・将来の生活を見通す ・経済的に自立する ・消費社会を生きる ・消費生活と環境のかかわり	・家庭の経済について理解する。 ・現代の消費生活の課題について理解する。 ・資源や環境に配慮し、消費者として責任を持って行動できるようにする。	6	定期考査 授業の取組 実習の取組
2	☆学年末考査			4	

64時間 (55分授業)

## 4. 課題・提出物等

各単元、保育実習、調理実習等でレポート、課題を提出してもらいます。

## 5. 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・技能	表現	知識・理解
各単元において関心を持ち意欲的に考えようとしている。	自分の生活と照らし合わせ、適切な判断をしようとしている。	人生設計を表すことができる。	各単元において、基礎知識を理解している。
以上の観点を踏まえ	・授業への取組状況 ・安全に考慮した実習活動	・ファイル、実習の記録、課題 ・定期考査	レポート等の提出物 などから総合的に判断します。

## 6. 担当者から一言

いよいよ最終学年です。卒業後、就職・進学等で親元を多くの人が離れると思います。一人で自立した生活ができるように、安全・衛生に注意し実習に取り組んでください。特に今年は保育園があります。細心の注意をはかり、子ども達と触れ合ってください。

担当 中野由佳